



白浜にお住まいの

柏谷 祐也さん・浩世さんの

長女 ^{ここみ} **心深** ちゃん (2歳7か月)

お友達が大好き？

保育園が毎日楽しいよ！

ぬいぐるみのベアと一緒にオママごとをするのが大好き。

1～10が言えるようになったよ！

パパとお風呂に入るのが大好きです。

みなさんのお家のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。

防
災

豆

知

識



注意報・警報の違い

今月号から、まち遺産や観光、市の歴史コラムに加え、防災に関する情報を提供するコーナーが始まりました。第1回目は、津波災害についてお話しします。

正しく知り、正しく恐れる

今年の9月17日に発生したチリ沖地震によって、翌18日の深夜3時に日本の太平洋沿岸に津波注意報が発表されたことは、記憶に新しいことだと思います。

このとき、市でも津波注意報の発表に併せ、同報無線による広報を実施し、津波の到達予想時刻前には、海岸付近に避難勧告を発令しました。ここで、「なぜ海岸付近だけなの？」、「海岸付近ってどこのこと？」という2つの疑問について今回は説明します。

津波注意報は、基準となっている津波の高さ（1m以内）から、漁業従事者、沿岸の港湾施設等で仕事に従事する人、釣客、海水浴客等の安全を念頭に、海岸堤防等の施設より海側の地域（海の中を含む）を対象としています。

「海岸付近」とは、単純に海に近い場所ということではなく、海岸の防護施設より海側の場所となるのです。

知ること

安心・安全が増します

これは、あくまでも基準と想定です。地形や潮の干満その他気象条件などで局所的に津波の高さが上がる場合や浸水する範囲が拡大することがあります。

9月18日の注意報について

今回は、津波注意報でしたから、高さが1m以内の津波の想定であったということになります。1m以内であれば、海岸堤防、防潮堤などの施設で防ぐことができ、市街地に影響を及ぼすことはありません。そのため、避難の範囲が海岸付近となりました。次に、その海岸付近がどこを指すのかということですが、

問合せ先

地域防災課防災係

☎ 4145